

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年6月21日(2012.6.21)

【公開番号】特開2011-136218(P2011-136218A)

【公開日】平成23年7月14日(2011.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2011-028

【出願番号】特願2011-87091(P2011-87091)

【国際特許分類】

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

C 0 8 B 37/08 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 27/00 V

C 0 8 B 37/08 Z

A 6 1 L 31/00 T

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月28日(2011.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒアルロン酸と、ヒアルロン酸濃度を 5 ～ 18 質量%にする水、及びヒアルロン酸のカルボキシル基と等モル以上のヒアルロン酸より強い酸成分とを共存させ、該共存状態を -10 ～ 30 の温度で、且つ水分が凍結しない温度に保持することによりヒアルロン酸ゲルを形成することを特徴とするヒアルロン酸ゲルの製造方法。

【請求項 2】

ヒアルロン酸ゲルを形成し、次いで該ゲルを中和に用いる溶液で処理する請求項 1 に記載のヒアルロン酸ゲルの製造方法。

【請求項 3】

前記酸成分が、0.45 ～ 1 mol / リットルの強酸水溶液である、請求項 1 または 2 に記載のヒアルロン酸ゲルの製造方法。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の製造方法で得られたものであり、中性の 25 の水溶液中で 1 日での溶解率が 50 % 以下であり、ヒアルロン酸の促進酸加水分解条件下でヒアルロン酸ゲルを処理することで可溶化されたヒアルロン酸が分岐構造を有し、該可溶化されたヒアルロン酸中に、分岐度が 0.5 以上の分子量フラクションを部分的に含むヒアルロン酸ゲルと、ゲル化されていないヒアルロン酸を含む医用材料。

【請求項 5】

ヒアルロン酸ゲルが破砕状である請求項 4 に記載の医用材料。

【請求項 6】

医用材料が関節症治療用注入剤である請求項 4 または 5 に記載の医用材料。

【請求項 7】

医用材料が塞栓形成材である請求項 4 または 5 に記載の医用材料。

【請求項 8】

医用材料が軟質組織注入剤である請求項 4 または 5 に記載の医用材料。

【請求項 9】

医用材料が代用硝子体である請求項 4 または 5 に記載の医用材料。